



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツォ
＜イタリア＞



第1758回例会 令和7年11月11日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 唐澤千明ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介

・支援留学生 ジュ イェソン 様 (オンライン)

■ 会長談話 井上修会長



福井東 RC に卓話を頼まれて行って来ました。新幹線の中で名刺入れを忘れたのに気付きさあ大変。福井でスピード印刷を探し駆け込みました。財布から予備のロータリーの名刺を渡すと、貴方ロータリアンか？内の娘はローターアクトとか。どちらのクラブですと聞くと福井東クラブとか！！出来上がって取りに行くとその娘さんが渡してくれました。名刺は出来たが名刺入れがない。タクシーの運転手さんに聞いたら油屋がいいとか。店に行ったら名刺入れを買っていると奥から店主が出て来て、貴方ロータリアンか？とバッジを見て聞いて来ました。そうだよと言うと私も二か月前に福井ロータリーに入りましたとか。タクシーに乗って帰ろうとすると、飛んできて、伊那食品さんですか？私、平田さんととても親しいですって言われて大喜び。平田君、わが社の社員でしたが、ローターアクトで知り合った女性と結婚。その彼女が福井の大会社の令嬢でしたと言う話。

■ 慶 祝

11月誕生祝い

・唐澤知子会員 ・杉本徳治会員 ・田中真人会員 ・伊澤和男会員
・唐澤千明会員



■ ニコニコボックス

- ◆井上修 伊那中央ロータリークラブのラインでご紹介させていただきましたが、明年の分水ロータリークラブとの交流会は一泊二日の旅となりました。先方が、①会津若松、②金沢、③富山と提案していただきました。今のところ、海の幸が豊富な富山が有力候補です。
- ◆加藤篤 合同ゴルフコンペいな中央 RC の部で優勝させて頂き、ありがとうございます。新しいドライバーを買う許可を妻からもらっていましたが、成績が良いならそのまま良いじゃんということで、一転否決となりました。
- ◆橋爪麻人 「今日は飲んじゃうか」と「今日飲み干すか」との誤解はありましたが、本日のロータリーの友紹介、よろしくお願いします。
- ◆田中洋 会長、幹事、親睦委員長唐澤さん、友好池上さん、SAA 橋爪さん、妙高での分水ロータリーとの打ち合わせ大変にお疲れさまでした。分水の方々は友好のことがよくわからない方が多くて、大変ご苦労されたようです。これからもよろしくお願いいたします。
- ◆第3回ゴルフコンペのゴルフ
優勝 鈴木一比古 準優勝 杉本徳治 3位 宮下健

■ 幹事報告

加藤篤幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・10月28日（火）ゆめプロ.JP武田教育長との事前ミーティングの報告 講師登録者 井上修会長

長野県の主催の令和 7 年度 長野県シェーカツ NAGANO キャリア相談室運営事業 セミナー名「長野県 シャチョー！ミーティング」にパネラーの一人として参加させて頂きました。30 人前後の大学生が相手です。白鳥前ガバナー（凄い方でロータリーに新風を吹き込んでおられます）の、尽力により県との協定が成立、長野県教育長の武田氏も主役の一人です。県庁で講演の心得を得々と聞かせて頂き、高圧的、成功体験の羅列は禁止と強く言われました。さて、ロータリーアンが何が出来るか新しい切り口の企画です。相手は大学生 30 人、責任重大です。

①会場で・先ず・前列が空いていたので、後ろから座るのは聞く気がないからだ。授業でも前から座ってご覧、実によく頭に入ってくるよと説教。

②社会に迎合しない事。自らの信ずる所を進もう。③勤めたら社長意識で取り組むこと。会社や社会に役立つという卑近な事でなく、貴方がた自身の人格の完成になります。終了後の懇親会は武田主役氏等と交流を深めました。懐の深さばけた人格者でありました。

TODAY'S SPECIAL GUEST

長野県企業のトップと近距離で話せるシャチョー！とミーティング

伊那食品工業株式会社
元取締役会長 井上修氏
伊那食品は「かんてんば」で知られる寒天メーカーです。私たちは、木々が着実に根を張り成長していくような安定成長を目指す経営（年輪経営と呼んでいます）を続けています。
井上や利益を優先しない会社のあり方や、働くことの意味について、一緒に話せる時間になりたいと思っています。

高島産業株式会社
代表取締役社長 小口武男氏
時計部品から医療機器まで、精密加工技術で挑戦を続ける高級産業です。ものづくりの現場や技術者の思い、会社の雰囲気などを社長の視点からお伝えします。
ものづくりに少しでも興味がある方は、ぜひ気軽に話を聞きたいと考えています。

NIKKI Fron株式会社
代表取締役社長 春日孝之氏
当社は世界最先端の半導体工場を中心にフッ素樹脂PTFEなどの高性能素材を使用した製品を提供しております。
環境調和型を目指したPTFE再生素材「サステナフロン」をはじめ、持続可能なものづくり企業を目指す取り組みをお話します。

日本銀行松本支店
支店長 真川伸樹氏
日本銀行は、「皆さんがお金を当たり前に、安心・安全に使えるようにする」という使命の実現に向けて、長野県では松本支店がその役割を担っています。
社会の当たり前を支える仕事や、経済・金融にご興味がある方はぜひご参加ください。

28 October 2025 start at 5PM
長野県立大学三輪キャンパス 2階E24講義室



・10月31日（金）伊那商工会議所第30期新役員・新議員との懇親会の報告

井上修会長

伊那商工会議所の第30期 役員・議員懇親会が、令和7年10月31日に上伊那フラワーパレスにて以下の次第にて行われました。宮下代議士、白鳥市長、酒井県議他100名弱の参加者でした。



1. 開 会
2. 第30期執行部紹介
3. 会頭あいさつ
4. 来賓祝辞
 - ①伊那市長
 - ②衆議院議員
 - ③県議会議員
 - ④上伊那地域振興局長
 - ⑤伊那市議会議長
5. 祝電披露
6. 乾 杯
7. 締 め（指名あり）
8. お返しの万歳

・11月1日（土）伊那RCとの合同ゴルフコンペの報告

伊藤かおりゴルフ部長



11月1日（土）、伊那ロータリークラブ・伊那中央ロータリークラブ合同ゴルフコンペに13名の皆さんと参加して参りました。皆さんの実力のお陰で今年も団体優勝をさせていただくことができました。また今年から表彰式を従来の形式と変えて夜の開催としました。初年ということで心配されましたが、こちらも無事に終えることができました。一日を通して皆さんのご理解とご協力のもと無事行うことができましたこと、この場をおかりしてお礼申し上げます。ありがとうございます。引き続き、ゴルフ部の活動へのご理解とご協力をお願いし、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

・11月3日（月・祝）インターアクトクラブと信大留学生との交流会の報告

宮原英幸青少年奉仕委員長



開催期日 令和7年11月3日（月）
開催時間 午前10時 ～ 午後4時（予定）
開催場所 伊那市上新田公民館

ご存じのように伊那中央 RC では、恒例の伊那西高 IAC の自主研修としての表記交流会活動を支援しています。今年は23回目となります。

本年は昼食として、伊那産新そばを提供いただくこととなり、衛星クラブの牧田会員中心に企画いただき、当中央 RC の原一馬会員が強力な助っ人となり、何と5kgのそば粉を打ってくれました（二八と聞きました。）。更に澤屋さんの御協力で出張天ぷらを揚げいただき、見事な盛り付けで豪華な昼食となりました（調理の片付けまでしっかりやってくれました。）。感謝いたします。すでに映像は LINE 共有されていますので、本日は口頭での報告のみといたします。

総出席者は47名（留学生8ヵ国10名；伊那西高 IAC 17名、東海大諏訪高 IAC 7名（いずれも顧問含む）；伊那中央 RC 8名、伊那 RC 1名、茅野 RC 4名（交換留学生1名含む））となり、大変有意義な1日を過ごしました。

開会行事・学校紹介の後、先だって取り掛かってきていたそば打ちの実演見学を見ながらの交流に入りました。留学生はもちろん高校生も、ソバは食べた経験があってもそば打ちを見るのは初めてという学生も



多く、質問や感嘆の声も飛び交っていました。ナンに似ているとの会話も留学生からありました。また天ぶらの実演も興味深いものでした。全員の昼食が揃うまでにはそれなりの時間がかかりましたが、汗だくになってそばを打ったり天ぶらを揚げる真剣な姿は印象的のようで、賑やかに昼食となりました。留学生達がハシを結構上手に使っていたのは印象的でした。この交流会で高校生と留学生共に親睦を深めることができ貴重な機会となったと確信しています。

昼食後のグループ別の母国言語学習や、引続きの留学生の母国紹介は盛り上がり、タイムスケジュールとしてはもっと時間を取った方が良かったかもしれません。また今回留学生に日本語の初心者が多く、母国紹介も英語だったため、工夫をした方が良かったかとも思いますし、母国の数なども考慮し、次回は時間配分を検討する必要もあるかと思いました。

終了行事は極力短縮することとして、4時半頃に終了、片付けの後、5時頃には解散となりました。

当委員会の一大行事が何とか無事終了し、ご協力いただいた全ての皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



・11月6日（木）衛星クラブ新そば例会の報告 加藤篤幹事



衛星クラブそば打ち例会が11月6日上新田公民館にて行われました。ロータリー本会からも多数の会員が参加して、牧田委員指導の下で美味しい新そばが出来上がり、参加者が舌鼓をうちました。

・11月9日（日）～10日（月）分水RCとの友好交流打合せ会の報告 池上幸平友好担当委員



両クラブ5名ずつの参加にて妙高で打ち合わせを実施。分水ロータリークラブは年齢の若年化が進み、友好の認識が難しい状況ではありましたが、中央ロータリークラブの田中会員が作成した友好の資料が役立ち、打ち合わせが終了。

3つのコースの旅行の案がだされ、これからどのコースがいいかを決定していく。

・12月16日（火）年末家族例会の案内 唐澤知子親睦活動・友好委員長



今年も年末恒例クリスマス夜間例会が開かれる季節となつてまいりました。今年は12月16日に開催です。本日出席案内の用紙を皆様のお手元にお配りいたしました。今年度は昨年に引き続きフラワーパレスでの開催です。現在、委員会及び会長はじめ三役役の方々と相談しながら、素晴らしい会となるように企画案ををあれこれ練っております。楽しい会となる予定ですので、ぜひ多くの方のご出席をお願いいたします。ご家族の方もぜひぜひお越しくださいますよう、お待ちしております。

・2026-2027年度委員会構成及び組織変更について 宮下健会長エレクト



Rotary

伊那中央ロータリークラブ

2026～2027年度

委員会構成及び組織変更について

1 40期クラブスローガン

Rotary

地域に根ざした奉仕の40年

～持続可能な未来へ～

私たちはこの40年、会員そして地域の皆様とともに歩み、奉仕の心を胸に、さまざまな活動を積み重ねてまいりました。

この節目を足るに当たり、私が改めて感じるのは「感謝」と「継承」の大切さです。先輩方の情熱とご縁に支えられ、今ここにある私たちの活動は、未来へと続く希望の架け橋でもあります。

地域の活力を高め、持続可能な社会づくりに向け新たな一歩を踏み出す機会です。若い世代との連携、地域資源の再発見、そして奉仕の精神の継承を通じて、地域の未来を会員の皆様と育んでまいりましょう。

2 変更の目的

Rotary

変更の目的

- ① 委員の重なりや慣習的な運用を整理し、役割を明確にしてより機能的な体制とする。
- ② 会員の負担を軽減し、限られた人員でも機能する体制をつくる。
- ③ 決定・実行のスピードを高める。

3 委員会構成変更

Rotary

No.	項目	変更内容
①	国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会・米山記念奨学委員会	統合し、「国際奉仕・財団委員会」とする。併し、委員会内に米山・博久留学生奨学金を設ける。
②	デジタル化推進委員会	廃止し、クラブ運営委員会内に担当者を設ける。
③	ロータリー情報委員会	廃止し、クラブ運営委員会内に担当者を設ける。
④	ソングリーダー	クラブ運営委員会内に担当者を設ける。
⑤	会員増強プログラム委員会	名称を「会員増強委員会」に変更する。
⑥	委員配置の原則	原則として、一人一委員会とする。併し、委員規定がある委員会は兼任する場合はある。
⑦	副委員長長の原則	原則として、副委員長は前年度の委員長を務める。

4 組織変更

Rotary

組織変更について

※印の委員長は、会長またはクラブ運営委員長の判断により、理事会への出席を求められた場合は出席してください。

会長

会長エレクト

副会長（クラブ運営委員長）

クラブ運営委員会

出成委員会

機軸活動友好委員会

会員増強委員会

公共イメージ向上委員会

幹事

副幹事

会計

S, A, A

連絡会長

理事

戦略計画委員長

職業・社会奉仕委員長

国際奉仕・財団委員長

青少年奉仕委員長

職業クラブ委員長

40周年実行委員長

理事会構成（14名）（現在21名）

○役員（7名）

会長 会長エレクト 副会長（クラブ運営委員長）

幹事 会計 S.A.A 直前会長

○理事（7名）

副幹事 戦略計画委員長 職業・社会奉仕委員長

国際奉仕・財団委員長 青少年奉仕委員長

衛星クラブ議長 40周年実行委員長

Rotary

これから第40期に向けて、役員・理事・委員長の選考に入ります。

お声がかかった方は、「了解！」のひと言でぜひお引き受けください。

みんなで楽しく40周年を盛り上げていきましょう！

・「ロータリーの友」11月号紹介 熊谷健ロータリー情報委員



まず、フランチェスコ・アレツツォ R I 会長メッセージが、横組み3ページにあります。今月は「ロータリー財団月間」に当たるということで、そのことについて述べられています。

「財団は、単にプロジェクトに資金を提供するだけではなく、信頼と友情に根差した奉仕が持続可能な変化をもたらすという、私たちの約束を果たすための原動力だ。」とし、ポリオ根絶の活動について触れられています。

「どんな偉大な旅でも、一番大変なのは最後の1マイルである。」とし、「ポリオ根絶に向けた最後の一步も同様である。しかし、私たちの行うすべての寄付は、どんな困難があろうとロータリーの活動は継続していくという宣言であり、寄付を通して、平和、信頼、超我の奉仕というレガシーを残していくのだ、」と結ん

でいます。

5ページからは「インターアクト未来への羅針盤」として、大阪万博で2660地区の7つのインターアクトクラブの代表者が、「人権と平和」についてプレゼンをした記録が載っています。「子供兵士」の問題（7ページ、金光八尾中学校・高校、8ページ上段、清風中学校・高校）、「国際社会における教育の未来」（8ページ下段、興国高校）、「男女格差の問題」（9ページ、四天王寺高校・中学校）、「女性活動促進と女性への偏見撤廃」（10ページ上段、解明中学校・高校）、「AIによる偽情報の危険性」（10ページ下段、追手門学院大手前中学校・高校）、「南スーダンへの教育支援」（11ページ上段、高槻中学校・高校）など、正に現代社会が直面する様々な課題について、中学生・高校生のインターアクトーたちが、自ら関心を持ったテーマについて、研究し発表しています。

16ページからはジョン・ヒューコRI事務総長のインタビューが掲載されています。事務総長は、RIの運営実務を統括するポジションで、CEOとも呼ばれています。RI会長の任期は1年、RI理事18名の任期は2年で、厳正な推薦や審議により選出されるのに対し、事務総長の任期は複数年となっており、再任もでき、理事会において指名されることになっています。現にヒューコ氏は、2011年以来14年に亘り、この地位に君臨していることになります。正に国際ロータリーの中の伏魔殿のような印象を持つわけですが、国際的な組織として、事務方の最高責任者ということでしょうが、理事等の執行機関と立場が逆転しているというような話（佐久ロータリーの元ガバナーの原さんが、以前わがクラブで卓話をしていただいた折、この不透明さを批判されていましたが）もあり、私も、同感であり、このような選出方法で良いのか疑問を持つところです。

しかし、そのような批判はさておき、ヒューコさんが国際ロータリーとロータリー財団の最重要人物であるという認識は、間違いありません。

そのヒューコさんは、17ページ右側で、ロータリーが成し遂げた、あるいは誇りを持つ3つの分野を紹介しています。

一つは「健全な経営管理」。二つ目は「ロータリーの行動計画の導入と継続的な展開」、3つ目は「グローバル補助金と、重点分野を中心とした活動の展開」これにより、人道的プロジェクトのインパクトを強調することができ、世界的な課題に直面している団体との連携にもつながっている、と発言しています。国際ロータリーがどのような視点で活動をしているかがうかがわれるインタビューです。

20ページからは、ビルゲイツ氏によるロータリーへの書面による回答が掲載されています。The Optimist（楽観主義者）という表題です。

「2025年5月、ビルゲイツ氏は、今後20年以内（2045年まで）にほぼ全ての資産を寄付して、長年続けてきた慈善活動を終了する、と宣言しました。」

ビルゲイツ財団とロータリー財団とは非常に深い関係であり、ロータリー財団の寄付1ドルに対し2ドルを上乗せする形で、ポリオ根絶活動のための資金を拠出しています。ビルゲイツ財団の設立から25年ですでに1000億ドル（15兆円）以上をポリオ根絶のために拠出してきているそうです。さらに2045年までにビルゲイツ財団を閉じるには、これまでの2倍以上（2000億ドル以上）の資金を使い切る必要があるのだそうです。（巨額すぎて余りイメージの湧かない話ですが）

この記事には、ポリオ根絶に対する熱い思いが語られています。

まず現状を（22ページ中）「各国が国際開発支援を数百ドル規模で削減しており、今年は、今世紀で初めて、世界中で亡くなる子供たちの数が減るのではなく増える年になる見込み」だと言います。そして、「私たちには、ロータリアンのように進歩にコミットする人々が必要なので、是非力を貸していただきたい」と続けます。

一方ゲイツ氏は、科学者、医療従事者、教育者、農業従事者たちの不屈の努力により、子供の死亡率の低下や、感染症の根絶、貧困からの脱却などに力を尽くしてきたことを評価し「ゲイツ財団の目標は問題を永続的に管理することではなく、解決すること」だとし、「地域社会が自ら直面する課題に取り組むような支援が今後20年の最優先事項であり、次世代の有志の新しいイノベーションが優れたツールを提供するだろう。直面する困難はあるが、ゲイツ氏としては楽観的にみている。」と綴っています。

その後、具体的なポリオ根絶についての現状と計画を熱く語り、最後にロータリー会員へのメッセージを載めています。（25ページ）

「世界中のロータリアンの皆様へ。長年に亘る献身とパートナーシップに心から感謝します。皆様の努力のおかげで、いつの日か全ての子どもがこの病気から安全に守られる世界でくらすことができるでしょう。ゲイツ財団が活動を終える2045年よりずっと前に、ポリオが完全に過去ののものになることを楽しみにして

います。」

縦組みには、「これからの時代に求められるリーダーの在り方」と題して、早稲田大学ラグビー部元監督の中武竜二氏のスピーチ。(私は明治大学ですのでライバルになりますが)

この人を訪ねては「紳士服オーダー専門店の4代目職人人生」長崎東ロータリークラブの南部光伸さんの話があります。

いずれも、興味深い話が載っていますので、ご一読ください。

■ 出席報告

会員数40名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者20名 事前メイク0名
出席率57.14% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘

13 : 30

次回例会

11月15日(土)・16日(日)「2025-2026年度 地区大会」
会場／松本市・ホテルブエナビスタ ・キッセイ文化ホール

11月25日(火) 点鐘／12:30 場所／海老屋料理店
・クラブフォーラム「ロータリー財団委員会」
・例会終了後：クラブ協議会(地区大会後)：理事会